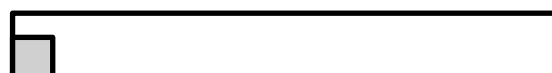


まちの未来構想



☐ まちの将来像

☐ 将来像を実現するための基本目標

第1章 まちの将来像

1. 変化をチャンスに！個性を強みに！そして好循環へ！

序論において述べてきた、社会潮流の変化、本市の現状と課題を整理すると、本市は

- ◇ 生産年齢人口の減少(労働力の不足)、超高齢社会といった人口構造の変化への対応
- ◇ 20歳前後、30歳代を中心とした転出超過傾向の抑制
- ◇ 本市の産業の中核をなす製造業の活性化や従業員の安定的な確保
- ◇ 医師不足が顕在化する中、将来にわたる地域医療サービスの維持・提供
- ◇ 自然災害や感染症などへの地域・企業・行政における対処能力の向上

など様々な課題に直面しています。

持続可能で活力ある未来を切り拓き、次の世代につないでいくためには、今まさに、重要な転換期を迎えており、

- ◇ 新たな社会潮流を的確に捉え、果敢に対応し、変化をチャンスに変えていくという視点
- ◇ こうした変化と本市の特性をうまく融合しながら、磨き上げ、強みとして活用していくという視点

を持つことが極めて重要です。

こうした中、社会全体を通じて生じている潮流の変化、なかでも

- ◇ ライフスタイルや働き方などの価値観の変化、若者世代を中心とした地方回帰志向の高まり
- ◇ 5G、AI・IoTなどICTの急速な進展
- ◇ デジタルトランスフォーメーションによる中山間地域の課題解決

は、本市にとって大きなチャンスになる可能性があります。

これらを踏まえると、本市は

- ◇ 多くの人を惹き付ける町並みの魅力があり、全国トップクラスの子育て・教育環境が整い、幅広い産業が集積していることから、価値観やニーズが多様化する中でも、様々なライフスタイルや働き方の実現を提供できる可能性があり、都市と自然の近接性・多様性がある地理的特性は、自然環境の豊かさを享受しつつビジネス活動を行うことができるという観点から、地方回帰志向に対する大きなアドバンテージであると言えます。
- ◇ また、ICTの進展、超高速・大容量、低遅延、同時多数接続が可能となる5Gの普及は、市民生活や企業活動において、大都会が必ずしも優位と言えなくなる時代が来るということであり、本市の持つ「ものづくり産業」「子育て・教育」「まちの魅力・賑わいづくり」に磨きをかける上で絶好のチャンスであり、ICT分野での積極的な取組の推進が新たなまちの強みになると言えます。
- ◇ 何よりも、人にやさしく、互いに支えあうコミュニティが残っており、市内に熱量の高い“いこる”人材が多いということは、大きな財産であると言えます。

という特徴を活かした未来づくりに取り組んでいく必要があると考えます。

そして、これからの本市は

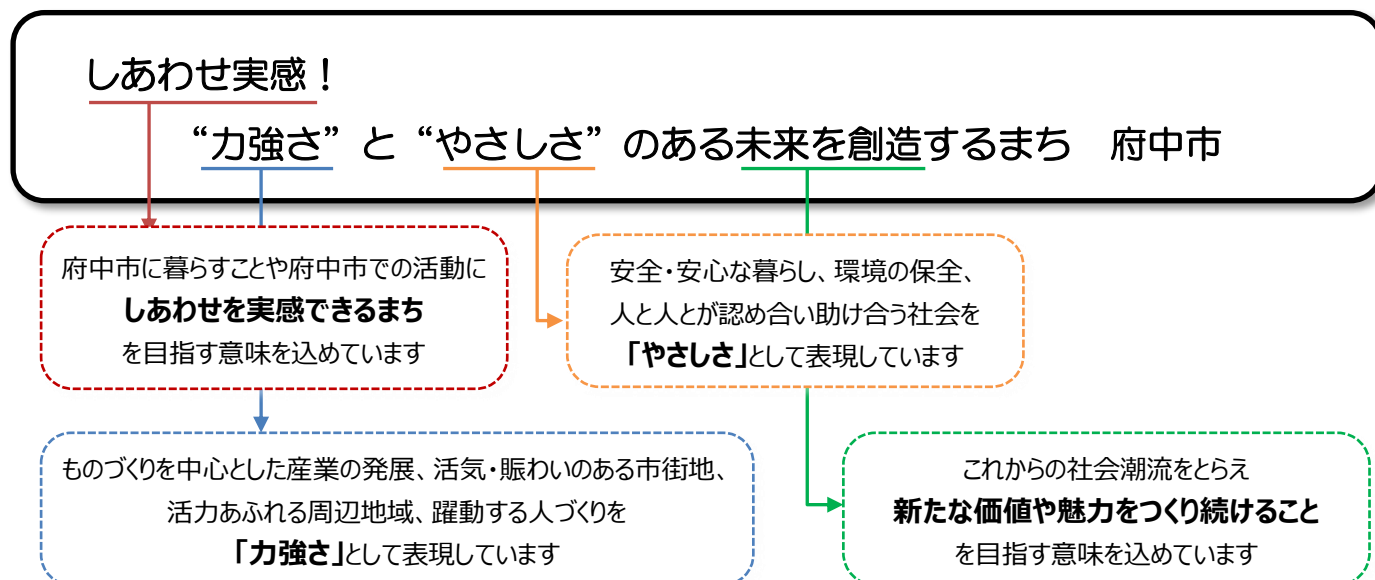
- 1 ものづくり産業、子育て・教育、まちの魅力、市内人材といった府中市の強みを伸ばしていく
- 2 官民挙げてICT都市ふちゅうの実現を強力に推し進めていく
- 3 市内外へ府中市の魅力を発信し、住民満足度を高め、多様な人材やビジネスチャンスを呼び込む

といった取組により、好循環を生み出していきます。

2. まちの将来像

このように本市が持つ「強み」と「やさしさ」を磨き、これからの社会潮流と掛け合わせることで、新たな魅力をつくり続ける、「未来」を創造するまちづくりに取り組み、本市での暮らしや活動に誰もが「府中市らしいしあわせ」を実感でき、市民一人ひとりが本市への愛着と誇りを持ち、「住み続けたい」気持ちを高めるとともに、市外の人たちの力を積極的に呼び込むことで活力や賑わいを創出し、「訪れたい」「住みたい」と思われる魅力あふれるまちとなることを目指します。

以上のこれからのまちづくりへの想いを込め、次のとおり第5次府中市総合計画の将来像を掲げます。



また、この将来像を計画期間満了時（2030年3月）に実現させる未来への決意を含めて、

本総合計画の名称を「しあわせ府中^{にーまるさんまる}2030プラン」とします。

府中市の現状・課題

人口	人口構造の変化・労働力人口の減少・ 外国人人口の増加
産業	製造業に特化したまち・女性の活躍・ 観光振興の必要
医療	医師不足・医師の高齢化

この他
にも

中山間地域の過疎化による地域力の減退
農業の担い手の不足
健康寿命の延伸（フレイル予防等）
共生社会の推進
：

など

これからの社会潮流

人口減少・超高齢化

人生 100 年時代

価値観の変化

Society5.0

働き方改革

SDGs

協働社会の進展

関係人口

多文化共生社会

災害激甚化・感染症



府中市らしさ・強み

歴史文化資源

文化財や歴史的背景による
情緒溢れる町並み

ものづくり産業

産業集積・技術力・
雇用吸引力

子育て・教育

待機児童ゼロ・小中一貫教育・
コミュニティスクール

近接性・多様性

市街地と田園の調和・
ちょうどいい距離感

人のやさしさ・熱量

支えあう地域の連帯感・
盛んな市民活動

力強さ

府中市らしい強みを活かした産業やまちの
「しあわせ（活力・賑わい）」の創造

やさしさ

府中市らしい住みよさを活かした地域社会の
「しあわせ（つながり・共生）」の実現府中市での暮らしや府中市での活動に、誰もが
「しあわせ（安心・元気・笑顔）」を実感

住み続けたいまち

訪れたい、
住みたいまち

「選ばれるまち府中市」の実現

第2章 将来像を実現するための基本目標

1. 施策の展開方針

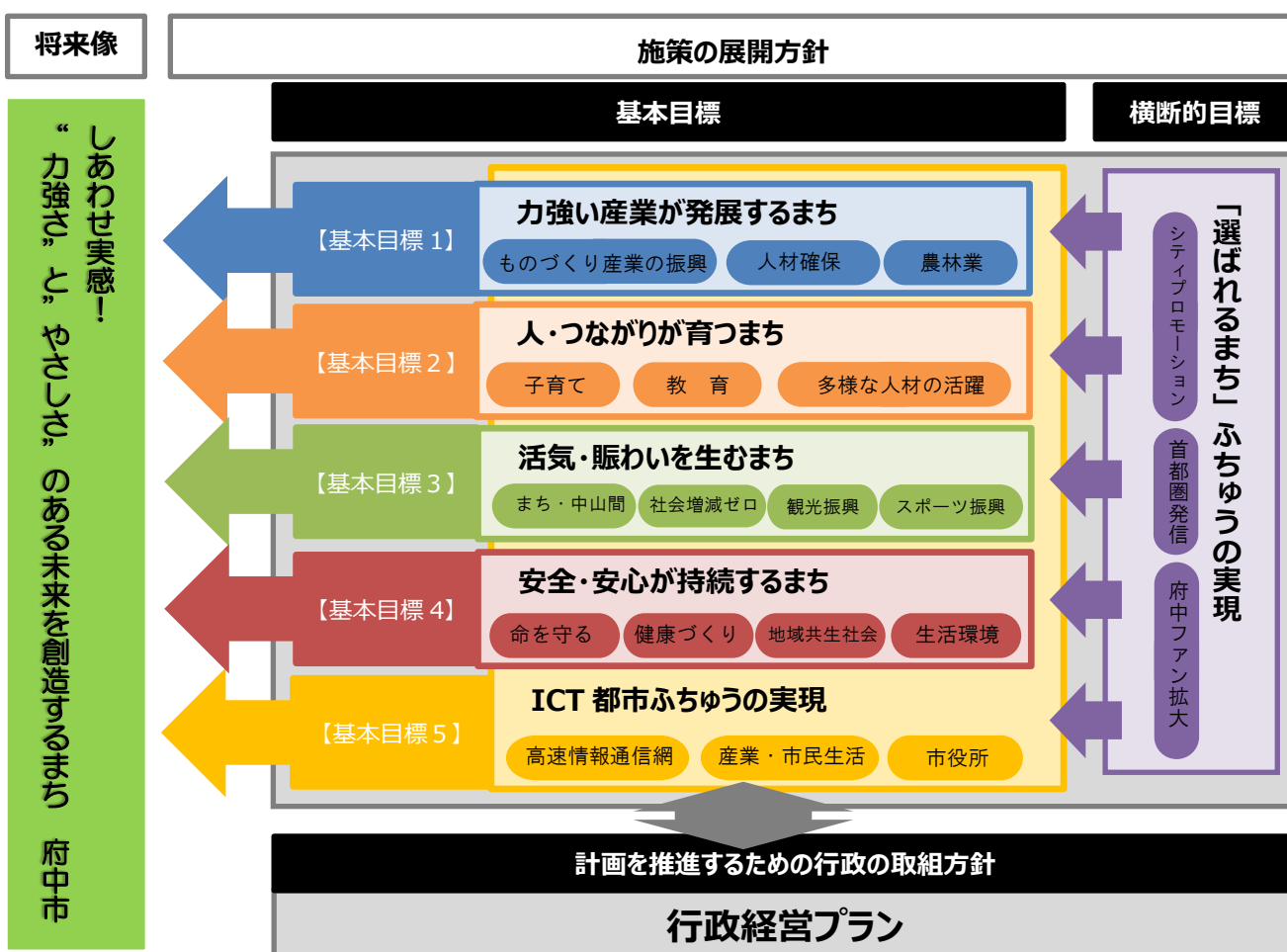
府中市の目指す新たな将来像を実現するために、今後様々な施策を講じていく必要があります。

しかしながら、それが個別の事業ごとにバラバラに展開されたのでは、その効果は限定的なものに留まってしまいます。そこで、将来像を実現するために必要となる要素ごとに基本目標を定め、それぞれの施策の方針を示します。その基本目標から方針までを市民、団体、企業、行政が皆で共有し、同じ方向を向いて取組を進めることで、その効果を最大限発揮することを目指します。

その要素については、「力強い産業が発展するまち」「人・つながりが育つまち」「活気・賑わいを生むまち」「安全・安心が持続するまち」「ICT 都市ふちゅうの実現」の5つとします。

これらの各要素すべてにおいて基本目標を定め、その達成に向けて政策の分野ごとに取組を展開していきます。しかしながら、人や財源には限りがあります。限られた資源を効果的に投じていくために、他の要素や政策分野への高い波及効果が予測できるもの、将来像の実現に向けて特に加速化が期待できるもの、喫緊の課題として対応するものなどについては、重点的に取り組むべき政策分野として定めます。

これら5要素の横断的目標を『「選ばれるまち」ふちゅうの実現』とし、また、行政運営の土台となる組織、人材、財務などの取組方針を示す「行政経営プラン」を策定し、施策を推進します。



2. 基本目標

〔基本目標1〕 力強い産業が発展するまち

本市のものづくり産業の優位性を活かした競争力の強化や人材確保を図るとともに、地場産業の新事業展開や新たな産業創出など、産業が活性化し、発展するまちを目指します。

農業においては、農地集積や担い手の育成を図るとともに、生産性の高い基盤や農地の効率的な活用、新たな産品、特産品の開発などによるビジネス化の可能性を追求します。

【重点政策テーマ】

- ☐ 「ものづくり」のブランド向上や新産業の創出を進めるとともに、商業をはじめとした中小企業等の活性化を図ります
- ☐ 多様なものづくり産業が集積している強みを活かして、市内外から人材の確保を図ります
- ☐ 「農」の持つ可能性と新たな価値を追求するなど、未来につながる農林業の振興を図ります

重要目標達成指標（KGI）	現状値	目標値
製造品出荷額等	1,892 億円（2017 年度）	2,086 億円（2029 年度）
農業産出額	14.4 億円（2017 年度）	15.5 億円（2029 年度）

〔基本目標2〕 人・つながりが育つまち

子供を産み、育てやすい切れ目のない支援体制づくりを進めるとともに、幼少期から子供や家庭をもつ希望の大切さを伝え、次代を育みやすい環境を整えます。

児童生徒の確かな学力を身に付け、社会を生き抜く力を育むとともに、家庭や地域、学校が連携を図りながらふるさとに誇りや愛着をもった人づくりを進めます。

また、幅広い市内外の幅広い人々が文化活動や生涯学習を通じてまちの魅力を磨くことができ、お互いを認め合う社会づくりを進めます。

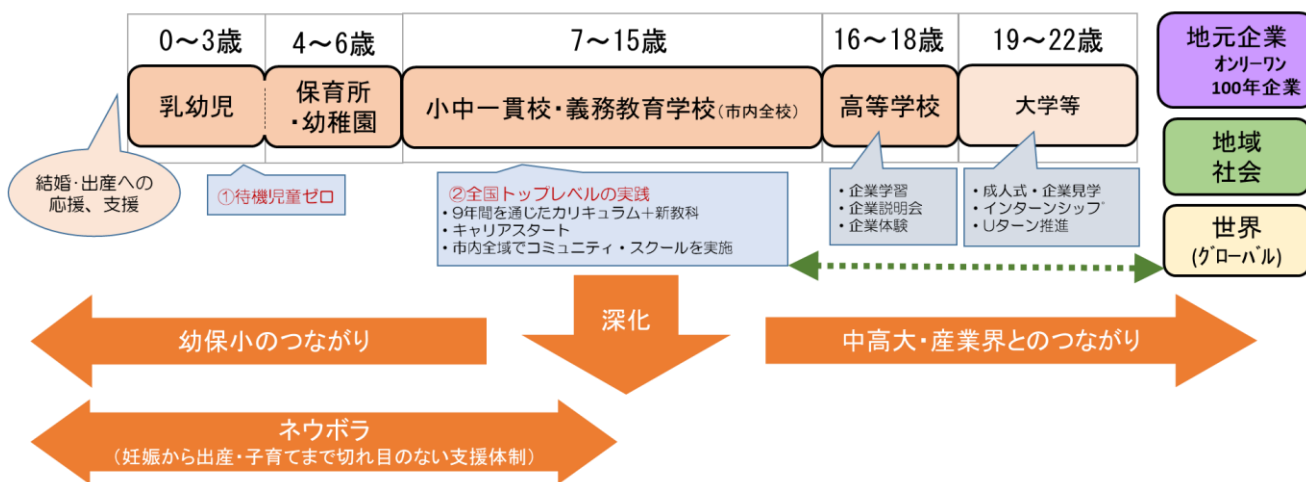
【重点政策テーマ】

- ☐ 安心して子供を産み育てることができる環境をつくります
- ☐ ふるさとを愛し、地域社会や世界で生き抜く力をもった子供たちを育成します

重要目標達成指標（KGI）	現状値	目標値
子育てに関する安心感（4か月検診時アンケート）※	90.4%（2019年度）	96%（2029年度）
全国学力・学習状況調査（質問紙調査）「将来の夢や目標を持っていますか」という問いに対し「当てはまる」と回答する生徒（中3）の割合	52.6%（県平均 50.0%） （2019年度）	県平均+5pts

※ 4か月健診時に実施するアンケート質問「産後退院してから1か月程度、助産師や保健師等からの指導やケアを十分に受けることができたか」に対する回答の平均値

■ 府中市の子育て・教育の姿



〔基本目標 3〕 活気・賑わいを生むまち

地域資源を活かしたまちなかや中山間地域の新たな活気や賑わいづくりを進めるとともに、市民に愛され、市外在住者からも選ばれる取組を推進します。また、持続可能な都市基盤の維持や道路ネットワークの整備を進めるとともに、公共交通網の利便性の向上を図ります。

さらに、豊富な歴史資源や文化、ものづくり、食を活かす観光戦略を進めながら、観光振興の恩恵が地域経済に寄与できるような仕組みづくりを進めます。また、スポーツを「する」「見る」「支える」ものとして、スポーツによる地域の賑わいを創出します。

【重点政策テーマ】

- ☐ 市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します
- ☐ 市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します
- ☐ 歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します
- ☐ すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

重要目標達成指標（KGI）	現状値	目標値
社会増減	▲201人（2017年）	±0人（2029年）

〔基本目標 4〕 安全・安心が持続するまち

地震や風水害などの自然災害や犯罪から住民の生命や財産を守ることができるよう、医療体制の維持・充実を図るとともに、「自分の身は自分で守る」を基本に、自分でできないことは地域で助け合い、地域でできないことは行政が支援するなど、安全・安心なまちづくりにみんなで取り組めるまちを目指します。また、感染症などの新たなリスクに対する備えも進めます。

すべての市民がいつまでも健康でいられるよう、フレイル予防や疾病予防など健康増進を高める取組を拡大し、子供や高齢者、障害者など生活弱者が地域に支えられ、住み慣れた地域で過ごし続けることができる環境づくりを進めます。

上下水道やごみ処理場など生活環境基盤の維持や整備を進めるとともに、増加する空き家等の適正管理や有効活用を図り、社会情勢に応じたまちづくりを進めます。

【重点政策テーマ】

- ☐ 自然災害をはじめとした様々なリスクから命を守る取組を推進します
- ☐ 生涯を通じた市民の健康づくりを推進します

重要目標達成指標（KGI）	現状値	目標値
活性化していると認められる自主防災組織 （活性化組織数/自主防災組織数/町内会数）	29/66/70（2018年度）	70/70/70（2029年度）
健康寿命	男性 77.97 歳、女性 84.49 歳 （2016 年度）	平均寿命の増加を上回る健康 寿命の増加（2029 年度）

[基本目標 5] ICT 都市ふちゅうの実現

急速に進展する情報技術を本市の産業、暮らし、行政など、様々な分野に活かすため、5G 等の高度情報基盤を整備するとともに、Society5.0 を見据えた、幅広い分野での未来技術の導入モデルを展開し、ICT 都市ふちゅうの実現を目指します。

【重点政策テーマ】

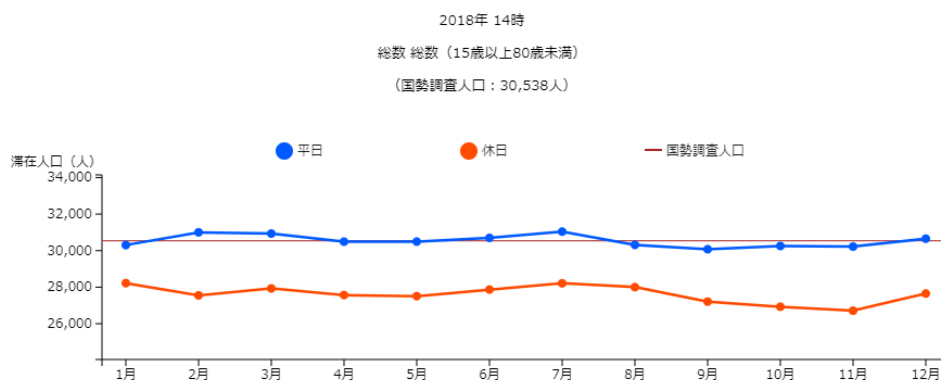
- Society5.0 を見据え、様々な分野での ICT 等の未来技術の導入を目指します

重要目標達成指標 (KGI)	現状値	目標値
マイナンバーカード普及率	13.3% (2019 年度末)	90.0% (2029 年度末)

横断的目標 「選ばれるまち」ふちゅうの実現

本市は、様々な分野において様々な魅力ある資源や特性を持ちながら、市内外の認知度が低いという課題を解決する必要があります。各分野の一貫した市内外への戦略的な情報発信、プロモーションを推進するとともに、首都圏での情報発信の強化や様々な人材や組織・企業等の有機的な連携を促進し、府中ファンの拡大を進めます。

重要目標達成指標 (KGI)	現状値	目標値
「15 歳以上 80 歳未満」「14 時」の滞在人口率	年間を通じ 平日 1.0 前後 休日 0.8~0.9 (2018 年)	年間を通じ 平日、休日ともに 1.0 以上 (2029 年)



【出典】

株式会社 NTT ドコモ・株式会社 ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「平成 27 年国勢調査」

【注記】

滞在人口率は、滞在人口 (株式会社 NTT ドコモ・株式会社 ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」) ÷ 国勢調査人口 (総務省「国勢調査」夜間人口) で表される。

滞在人口とは、指定地域の指定時間 (4 時、10 時、14 時、20 時) に滞在していた人数の月間平均値 (平日・休日別) を表している。

(C) 2017 NTT DOCOMO, INC. & DOCOMO InsightMarketing, INC. All Rights Reserved.

